

証券コード:8276



第54期 報告書

平成22年2月21日～
平成23年2月20日



平和堂は環境マネジメントの国際規格
ISO14001の認証を取得しています。

Contents

目次

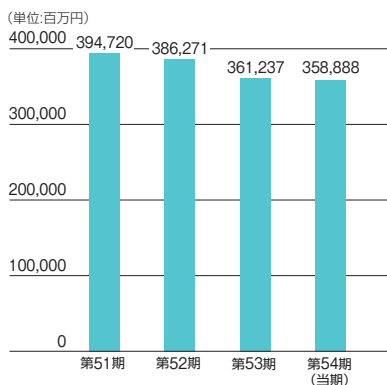
財務ハイライト	1	営業の概要	7
株主のみなさまへ	2	連結財務諸表	9
クローズアップ	3	単体財務諸表	11
トピックス	5	企業データ	13

● 財務ハイライト ●

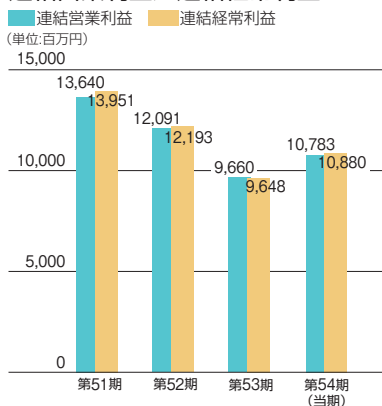
Financial Highlights

当社グループの営業成績等 (平成23年2月20日現在)

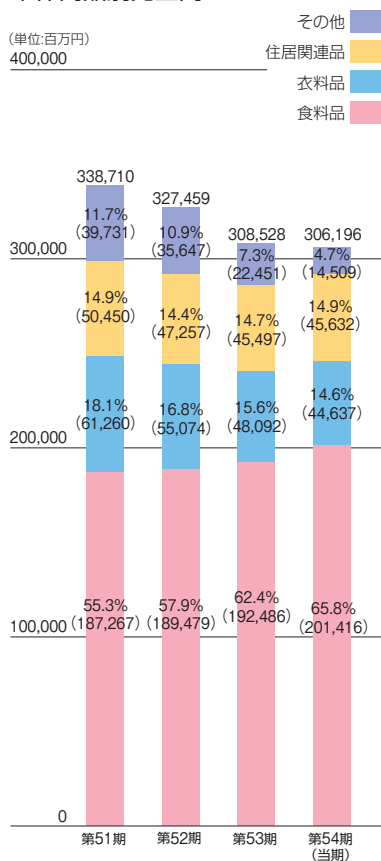
連結売上高



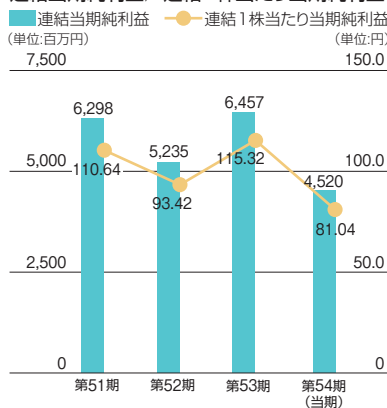
連結営業利益 / 連結経常利益



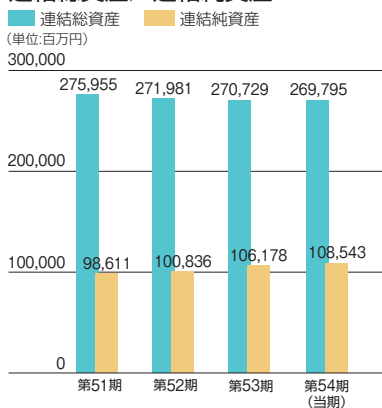
単体商品別売上高



連結当期純利益 / 連結1株当たり当期純利益



連結総資産 / 連結純資産





代表取締役社長

夏原 平和

株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

先般の東日本大震災により被災されましたみなさまに心からお見舞い申し上げます。

さて、当社第54期報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社は創業時から「より多くの消費者になくてはならない店」をめざし、一貫してお客様の目線で、ご満足いただける商品やサービスの提供、心地よい接客やお店づくりに励んでまいりました。これからも「お客様満足度の高い会社の実現」「社員満足度の高い会社の実現」「地域社会や環境との共生をはかる会社の実現」を経営方針に掲げ、その実現によって社会に貢献する会社として、株主のみなさまのご期待にお応えすべく積極的かつ効率的な事業推進をはかってまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年5月

名古屋市に平和堂が初出店!

2010年
9月8日

オープン 平和堂豊成店

2010年9月8日に名古屋市初出店となる「平和堂豊成店」がオープンいたしました。JR名古屋駅から南に約1.5kmの幹線道路・大須通り沿いという好立地。「地域に合わせた品揃えを実現し、お客様の期待に応える店づくり」をコンセプトに、都市型350坪のスーパーマーケット型スタイルで、買い回りのしやすい利便性を追求しております。バリアフリー新法認定店舗、緑化地域制度の認定も受け、地域にやさしい店舗開発を行いました。



▲駐車場の芝生が映える外観



▲地元「尾張の野菜」コーナー



▲「愛知のこだわり豆腐」コーナー

北陸初の近隣型ショッピングセンター

2010年
11月25日

オープン Friend Town福井

「Friend Town福井」は、JR福井駅から北東に約2kmの幹線道路である東環状線沿いにオープンいたしました。近隣には、保育園が9校、小学校が6校あり、小さいお子様をお持ちの30歳代のニューファミリー層や単身者が大変多い地域にあります。「地域のお客様に商品・サービスを通して支持され続ける店になる」をコンセプトに、当社の直営店とドラッグストアなど19の専門店で様々なサービスを展開してまいります。



▲フレンドマート開発店他19の専門店で構成



▲献立提案のクッキングサポートコーナー



▲新鮮な魚貝類を地元漁港より直送

地域密着の近隣型ショッピングセンター

2011年
2月6日

オープン

Friend Town竜王

450坪スタイルのスーパーマーケットを基軸に、周辺公共施設との一体感を持った「Friend Town竜王」が2011年2月6日にオープンいたしました。名神高速道路の竜王インターから北東約3kmに位置しており、店舗周辺に竜王町役場・商工会議所・公民館・図書館等の公共施設が集結する地域にあります。地域に根ざしたサービスとお客様のニーズにあった品揃えを実現してまいります。



▲Friend Town竜王の外観



▲マスコットキャラクター浅井三姉妹も来店



▲ノントレーのお肉で環境に配慮

衣料・住居関連フロアが一新!

2010年
12月3日

リフレッシュオープン

アル・プラザ亀岡

商圏分析により、団塊ジュニア層をターゲットとした衣料・住居関連フロアの品揃えの見直しとゾーニング変更を実施し、2010年12月3日に全館グランドオープンいたしました。家具・インテリア用品の大型量販店を導入し、適正坪数による効率化と生産性の改善を図るとともに、お客様が買い回りしやすく、品揃えが豊富で楽しくお買物していただけるお店として積極的な営業活動を進めてまいります。



▲自社PBで
ライフスタイルを
楽しくご提案



▲寝ながら枕の高さを確認できるSleeping・Studio

●新たな地域貢献事業の取り組み

「平和堂ホーム・サポートサービス」を開始いたしました。

近年、高齢化問題のひとつとして、お年寄の方、お体のご不自由な方、また小さなお子様がおられる方など、毎日のお買物に行きにくく、お困りの方が増えてきました。

そこで、みなさまにお育ていただいた平和堂として、何かお役に立つことができないかと考え、お買物代行サービスを目的とした「平和堂ホーム・サポートサービス」を2010年9月1日から創業店の彦根銀座店で実験的に始めさせていただき、11月1日から本格的に開始いたしました。

ご利用いただいているお客様から大変ご好評をいただいております。また新聞やテレビ等の報道を見て、自分の住む町にも実施してほしいとお客様からの要望もあり、2011年2月23日から2店舗目としてアル・プラザ近江八幡でも開始いたしました。

今後ともお客様のニーズに合わせて実施店舗を検討してまいります。

配達までの流れ



1 電話またはFAXにてご注文

※事前に対象店舗でお申込が必要です。



2 お客様に代わってスタッフが商品選び



3 冷凍・冷蔵専用車にてご自宅玄関先まで配送

●HOPカード優待施設拡充

HOPカードで、映画・レストラン等の優待サービスが受けられます。

HOPカード会員様への利便性と満足度向上のため、当社では優待施設の拡大に取り組んでおります。店舗近隣の人気施設を中心に29社(88施設)と契約し、2010年12月より優待サービスを開始しました。映画・レストラン・ガソリンスタンド・レジャー施設等でお得な特典や割引が受けられます。

今後ともHOPカード会員様にご満足いただける優待施設を拡充してまいります。



▲HOPカード会員様優待施設ガイド

●CoCoRo Plus、build新コーナーの拡充

新コーナーが話題を呼んでいます。

2009年10月、ビバシティ平和堂にオープンした「CoCoRo Plus」は、20～30歳代の女性をメインターゲットにしたコスメ&バラエティショップです。話題性の高い通販化粧品や化粧雑貨を豊富に品揃え、お客様に大変ご好評をいただいております。現在、京阪・北陸を中心に8店舗で展開しています。

また、2010年2月、アル・プラザ水口の改装に併せてオープンした「生活創造空間 build」は、住居関連品売場を1カ所に集中することでお客様の買い回り、利便性を高め、お客様に快適で便利な生活をトータルで提案する新コーナーです。2010年11月にアル・プラザ亀岡でもオープンし、今後も他店への導入を検討してまいります。



▲女性に人気の商品をご提案



▲生活創造空間 buildの外観

●古紙回収システム「エコすぽっと」スタート

古紙回収システム 「エコすぽっと」がお客様に大好評です。

2010年6月28日、アル・プラザ野洲のお客様駐車場に古紙回収システム「エコすぽっと」が誕生しました。お客様が持参された古新聞や雑誌等を投入していただくと自動計量し、専用カードに古紙1kgあたり1ポイントを加点。500ポイント貯まると平和堂商品券500円と交換いただけます。

古紙をお買物ついでに持って行けて、平和堂の商品券と交換できることもあり、お客様に大変ご好評で、設置から8ヵ月で358tもの古紙を回収できました。

今後も実施店舗を増やす計画を進めてまいります。



▲古紙回収の様子

企業集団の事業の経過および成果

当連結会計年度(平成22年2月21日から平成23年2月20日まで)におけるわが国経済は、新興国向けの輸出増や子供手当・エコポイントなどの景気刺激策により製造業を中心として回復の兆しがみられました。しかしながら、雇用情勢や所得環境が依然厳しい中、円高や政治の混迷、中東における政情不安もあり不透明な環境にありました。

当小売業界におきましても、業種・業態を越えた競合の激化や衣料品の販売低迷が継続するなど、経営環境は引き続き厳しい状況となりました。

このような状況の下、当社グループの中核企業である「株式会社平和堂」は、年度スローガン「脱皮—自分が変わる、仕事を変える ピカピカ売場・ピカピカ商品・ピカピカサービス」を掲げ、売場・商品・サービスにおける基本の徹底により、新しい売場・商品の提案に取り組んでまいりました。

当連結会計年度の売上高は3,588億88百万円(前年同期比0.7%減)、経常利益は108億80百万円(前年同期比12.8%増)、当期純利益は45億20百万円(前年同期比30.0%減)の結果となりました。

事業のセグメント別業績は次のとおりであります。

【小売事業】

「株式会社平和堂」における出店では、滋賀県下に安曇川店を移設・建替した「あどがわ店」を、愛知県下に名古屋市初出店となる「平和堂豊成店」を、その他「フレンドマーケット開発店」「フレンドマーケット竜王店」等スーパーマーケットタイプ3店舗の開設をいたしました。

既存店では、大型専門店導入による販売効率向上と新MD導入のため、アル・プラザ亀岡など4店舗の改装を実施いたしました。

衣料品における販売活動では、海外直仕入れの機能的な実用衣料の拡販や、新しいライフスタイルMDの提案をいたしました。住居関連品においては、新しく売場を編集し直した総合家庭用品ショップ“build”や自主編集ショップの展開をいたしました。

食料品では、持ち込み農家の商品拡大による地産地消の取り組みや、惣菜の価値にこだわった商品の開発などを実施いたしました。その他、全国物産展の開催による集客の向上に努めました。

地域貢献事業としては、買物にお困りの方への買物代行などを目的とした“ホーム・サポートサービス”を開始いたしました。

以上の結果、商品別売上高は衣料品446億37百万円(前年同期比7.2%減)、住居関連品456億32百万円(前年同期比0.3%増)、食料品2,014億16百万円(前年同期比4.6%増)となりました。

中国湖南省で小売事業を展開する「湖南平和堂実業有限公司」は、3号店が1年間稼働したことや、1・2号店とも堅調に推移した結果、業績は増収・増益となりました。

書籍・CD・DVD等の販売やCD・DVD・ビデオレンタル業を展開する「株式会社ダイレクト・ショップ」は、業界全体が縮小傾向もあり、減収・減益の結果となりました。

【小売周辺事業】

惣菜、弁当の製造加工業を展開する「株式会社ベスト・ネ」は、東海地区での外部生鮮センター稼働の影響もあり、減収となりましたが、新商品の開発、営業費用の見直しにより、増益となりました。

ビル管理事業を展開する「株式会社ナショナルメンテナンス」は、新規外部物件の受注や収益改善の取り組みにより、増収・増益となりました。

【その他事業】

外食事業を展開する「株式会社ファイブスター」は、接客技術の向上や商品開発、TV媒体でのメニュー紹介による客数増加により増収となり、物流コストの見直しもあり、増益となりました。

【設備投資等の状況】

設備投資につきましては、新店および既存店舗の改装など149億16百万円(前年同期比65.4%増)を実施いたしました。

【資金調達の状況】

上記の必要資金につきましては、自己資金および借入金にて対応いたしました。

【対処すべき課題】

次期におきましても、依然、雇用や所得環境は厳しく、さらに東日本大震災もあり景気の回復は時間がかかると予測されます。当小売業界におきましても、生活防衛意識が

再び高まりつつある状況や、さらなる競合の激化が続くと認識しております。

このような状況の下、年度スローガンを“お客様に選ばれる店になろう ピカピカ売場・ピカピカ商品・ピカピカサービス”とし、より多くのお客様にご来店いただく店舗になるために、売場や商品をはじめサービスの品質を高め、お客様の満足度を向上させてまいります。

衣料品においては、コーディネート型提案売場の新設と拡大、インナーウェア・靴鞆売場を核売場とし、収益力を高めます。住居関連品においては、新しい年代のお客様を取り込むために、コスメ&バラエティショップの開発、自主編集売場の店舗導入拡大等を推進します。食料品では、こだわりと低価格化という消費の二極化への対応や産直・地場商品の拡大、鮮魚では旬商品の訴求による鮮度感の向上や料理提案に積極的に取り組むなど、売場の改革に取り組めます。

新規出店につきましては、3月に名古屋市内2店舗目となる「平和堂なるばーく店」を、さらにスーパーマーケットタイプ店舗を5店舗出店する予定です。改装についても、売場効率の改善や収益性向上のための改装を進めてまいります。

作業改善においては、食品部門の作業改善を進捗させるとともに作業割当システムをレジ部門以外へ拡大し、人時生産性を高めるなど効率化を図ってまいります。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成23年2月20日現在	平成22年2月20日現在
資産の部		
流 動 資 産	45,813	44,943
固 定 資 産	223,979	225,777
有 形 固 定 資 産	177,651	174,212
無 形 固 定 資 産	6,271	6,305
投 資 そ の 他 の 資 産	40,056	45,259
繰 延 資 産	2	8
資 産 合 計	269,795	270,729
負債の部		
流 動 負 債	114,906	98,285
固 定 負 債	46,345	66,265
負 債 合 計	161,251	164,551
純資産の部		
株 主 資 本	106,440	103,571
資 本 金	11,614	11,614
資 本 剰 余 金	19,017	19,017
利 益 剰 余 金	80,579	77,454
自 己 株 式	△4,770	△4,514
評 価 ・ 換 算 差 額 等	165	810
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	698	648
為 替 換 算 調 整 勘 定	△533	161
少 数 株 主 持 分	1,937	1,796
純 資 産 合 計	108,543	106,178
負 債 及 び 純 資 産 合 計	269,795	270,729

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成22年2月21日から 平成23年2月20日まで	平成21年2月21日から 平成22年2月20日まで
売 上 高	358,888	361,237
売 上 原 価	252,847	255,323
売 上 総 利 益	106,040	105,914
営 業 収 入	24,067	24,494
営 業 総 利 益	130,108	130,409
販売費及び一般管理費	119,324	120,748
営 業 利 益	10,783	9,660
営 業 外 収 益	1,095	1,044
営 業 外 費 用	999	1,057
経 常 利 益	10,880	9,648
特 別 利 益	7	73
特 別 損 失	2,059	767
税金等調整前当期純利益	8,828	8,954
法人税、住民税及び事業税	4,520	2,868
法人税等調整額	△442	△630
少数株主利益	229	259
当 期 純 利 益	4,520	6,457

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成22年2月21日から 平成23年2月20日まで	平成21年2月21日から 平成22年2月20日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,280	25,367
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,582	△15,702
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,192	△7,550
現金及び現金同等物に係る換算差額	△634	402
現金及び現金同等物の増減額	△128	2,516
現金及び現金同等物の期首残高	12,423	9,906
現金及び現金同等物の期末残高	12,295	12,423

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Consolidated Financial Statements

連結株主資本等変動計算書

当期(平成22年2月21日から平成23年2月20日まで)

(単位:百万円)

	株主資本				株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	
平成22年2月20日残高	11,614	19,017	77,454	△4,514	103,571
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当	—	—	△1,396	—	△1,396
当期純利益	—	—	4,520	—	4,520
自己株式の取得	—	—	—	△255	△255
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—
連結会計年度中の変動額合計	—	—	3,124	△255	2,869
平成23年2月20日残高	11,614	19,017	80,579	△4,770	106,440

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成22年2月20日残高	648	161	810	1,796	106,178
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当	—	—	—	—	△1,396
当期純利益	—	—	—	—	4,520
自己株式の取得	—	—	—	—	△255
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)	49	△695	△645	141	△503
連結会計年度中の変動額合計	49	△695	△645	141	2,365
平成23年2月20日残高	698	△533	165	1,937	108,543

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表

貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成23年2月20日現在	平成22年2月20日現在
資産の部		
流 動 資 産	30,856	31,432
固 定 資 産	209,661	209,301
有 形 固 定 資 産	146,266	141,220
無 形 固 定 資 産	4,439	4,220
投 資 そ の 他 の 資 産	58,955	63,860
繰 延 資 産	2	8
資 産 合 計	240,520	240,742
負債の部		
流 動 負 債	101,907	84,530
固 定 負 債	41,662	60,214
負 債 合 計	143,570	144,745
純資産の部		
株 主 資 本	96,277	95,359
資 本 金	11,614	11,614
資 本 剰 余 金	19,017	19,017
利 益 剰 余 金	70,416	69,243
自 己 株 式	△4,770	△4,514
評 価 ・ 換 算 差 額 等	673	637
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	673	637
純 資 産 合 計	96,950	95,996
負 債 及 び 純 資 産 合 計	240,520	240,742

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成22年2月21日から平成23年2月20日まで	平成21年2月21日から平成22年2月20日まで
売 上 高	306,196	308,528
売 上 原 価	222,522	226,823
売 上 総 利 益	83,674	81,705
営 業 収 入	18,186	18,660
営 業 総 利 益	101,860	100,365
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	95,222	93,892
営 業 利 益	6,638	6,472
営 業 外 収 益	1,613	1,544
営 業 外 費 用	857	968
経 常 利 益	7,394	7,048
特 別 利 益	0	3
特 別 損 失	2,160	3,975
税 引 前 当 期 純 利 益	5,234	3,076
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	3,060	1,618
法 人 税 等 調 整 額	△394	△788
当 期 純 利 益	2,569	2,245

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Non-Consolidated Financial Statements

株主資本等変動計算書

当期(平成22年2月21日から平成23年2月20日まで)

(単位:百万円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計
				固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越 利益剰余金		
平成22年2月20日残高	11,614	19,017	19,017	2,168	1,260	63,450	2,364	69,243
事業年度中の変動額								
剰余金の配当							△1,396	△1,396
当期純利益							2,569	2,569
自己株式の取得								
圧縮積立金の取崩					△53		53	—
別途積立金の積立						900	△900	—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	△53	900	326	1,173
平成23年2月20日残高	11,614	19,017	19,017	2,168	1,207	64,350	2,690	70,416

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成22年2月20日残高	△4,514	95,359	637	637	95,996
事業年度中の変動額					
剰余金の配当		△1,396			△1,396
当期純利益		2,569			2,569
自己株式の取得	△255	△255			△255
圧縮積立金の取崩		—			—
別途積立金の積立		—			—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			36	36	36
事業年度中の変動額合計	△255	917	36	36	953
平成23年2月20日残高	△4,770	96,277	673	673	96,950

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要 (平成23年2月20日現在)

社名	株式会社 平和堂
所在地	〒522-8511 滋賀県彦根市小泉町31番地
電話番号	0749-23-3111(代)
設立	昭和32年6月
資本金	11,614,379,000円
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部
従業員数	3,422名(男2,371名 女1,051名)
事業内容	食料品、衣料品、日用雑貨品等の総合小売業 および店舗賃貸業等
店舗数	127店舗

●グループ会社

食料品、衣料品、日用雑貨品等の小売業

株式会社 エール 湖南平和堂実業有限公司

株式会社 ヤナゲン

飲食店等の経営

株式会社 ファイブスター 株式会社 シー・オー・エム

書籍・CD・DVD等の販売およびCD・DVD・ビデオレンタル業

株式会社 ダイレクト・ショップ

米飯、惣菜等の製造・加工・販売および精肉鮮魚加工

株式会社 ベストーン

アミューズメントの運営、飲食店等の経営

株式会社 ユーイング

総合ビル管理および警備保安業

株式会社 ナショナルメンテナンス

ホテル経営

株式会社 グランドデュークホテル

●その他の子会社

株式会社 平和堂友の会

八日市駅前商業開発 株式会社

舞鶴流通産業 株式会社

南彦根都市開発 株式会社

加賀コミュニティプラザ 株式会社

福井南部商業開発 株式会社

武生駅北パーキング 株式会社

富山フューチャー開発 株式会社

湖南平和物業発展有限公司

計19社

役員 (平成23年2月20日現在)

代表取締役社長	夏原 平和
常務取締役	中田 俊数
常務取締役	古川 幸一
常務取締役	平松 正嗣
取締役	山下 修一
取締役	木村 正人
取締役	市田 義一
取締役	村上 茂人
取締役	松井 一夫
常勤監査役	松山 正明
常勤監査役	内田 則孝
監査役	宮崎 君武
監査役	軸丸 欣哉

(注) 監査役 宮崎 君武氏および監査役 軸丸 欣哉氏は、会社法第2条第16号および第335条第3項に定める社外監査役であります。

株式の状況 (平成23年2月20日現在)

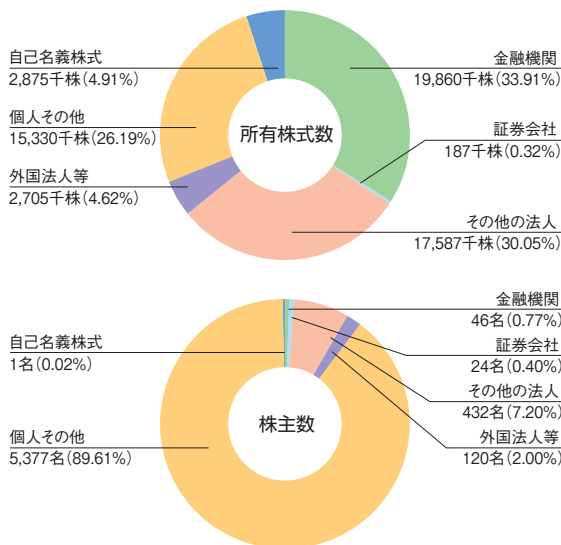
発行可能株式総数	150,000,000 株
発行済株式の総数	58,546,470 株
株主数	6,000 名

●大株主(上位10名)

株主名	所有株式数 千株	持株比率 %
夏原 平和	5,724	9.77
平和不動産有限会社	4,050	6.91
平和堂共栄会	2,677	4.57
株式会社滋賀銀行	2,500	4.27
平和観光開発株式会社	2,394	4.08
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,111	3.60
財団法人平和堂財団	2,000	3.41
日本生命保険相互会社	1,861	3.18
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,544	2.63
株式会社損害保険ジャパン	1,500	2.56

※当社は、自己株式2,875千株を保有しておりますが、上記大株主より除いております。

●株式分布状況



株主優待制度のお知らせ

当社株式100株以上ご所有の株主様へのご優待制度です。

毎年2回(8月20日、2月20日)現在の当社株式100株以上をご所有の株主様に対して「株主様ご優待券」(額面200円)を下記の基準により贈呈いたします。

(注)ご使用方法は、1回のお買上げ(1枚のレシート)の合計金額2,000円以上につき、2,000円毎に各1枚(200円券)ご使用いただけます。なお、「株主様ご優待券」は、株平和堂、株エールおよび株ヤマゲンの各直営店舗でご使用いただけます。(テナントおよび協同組合は除く)

【ご所有株式数】	【1回当たりの贈呈額】
100株～ 499株	1,000円のご優待券 200円券× 5枚
500株～ 999株	5,000円のご優待券 200円券× 25枚
1,000株～ 1,999株	10,000円のご優待券 200円券× 50枚
2,000株～ 2,999株	20,000円のご優待券 200円券×100枚
3,000株～ 3,999株	30,000円のご優待券 200円券×150枚
4,000株～ 4,999株	40,000円のご優待券 200円券×200枚
5,000株以上	50,000円のご優待券 200円券×250枚



●株主メモ

事業年度 毎年2月21日から翌年2月20日まで
基準日 2月20日
(その他必要ある場合はあらかじめ公告いたします。)

定時株主総会 5月
期末配当金受領株主確定日 2月20日
中間配当金受領株主確定日 8月20日

〈株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について〉
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
特別口座の口座管理機関 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-176-417

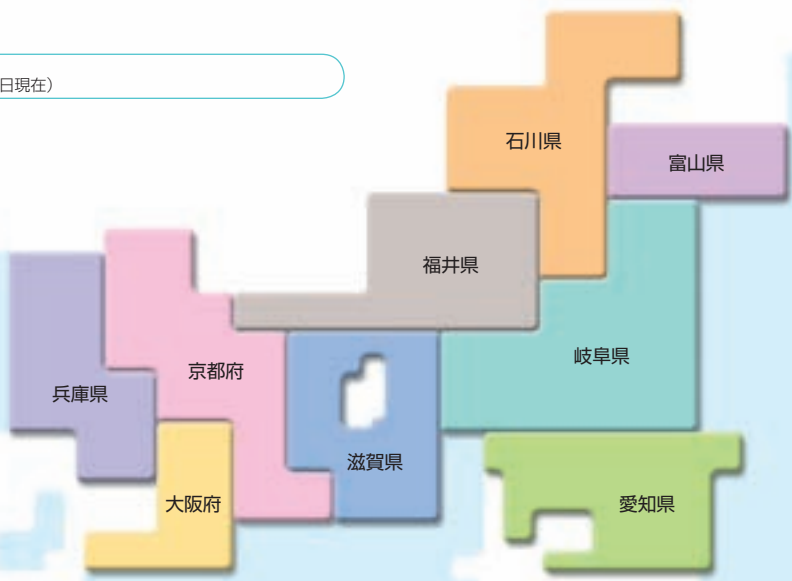
〈特別口座について〉
株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)をご利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といひます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお問い合わせいたします。

公告方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。(http://www.heiwado.jp/)

ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

● 店舗 (平成23年2月20日現在)

AP=アル・プラザ
FM=フレンドマート
SF=スーパーフレンド



滋賀県 71店舗

大津市

- 石山店
- AP 堅田店
- AP 瀬田店
- AP 大津店
- 坂本店
- 和邇店
- FM 南郷店
- FM 唐崎店
- SF 大石店
- FM 膳所店
- FM 石山寺辺店
- FM 雄琴駅前店
- FM グリーンヒル青山店
- FM 大津西の庄店

栗東市

- AP 栗東店
- FM・D 大宝店
- FM・D 小柿店
- FM 栗東御園店

野洲市

- AP 野洲店
- FM 中主店

甲賀市

- AP 水口店
- 信楽店
- FM 甲南店

草津市

- AP 草津店
- くさつ平和堂
- FM 上笠店
- FM 南草津店
- FM 追分店
- FM 志津東草津店

守山市

- AP 守山店
- 守山店
- FM 河西店
- FM 守山水保店

東近江市

- AP 八日市店
- 湖東店
- FM 蒲生店
- FM 五個荘店
- FM 能登川店

蒲生郡

- 日野店
- FM 竜王店

湖南市

- 甲西店
- 甲中央店
- 石部店
- FM 菩提寺店

愛知郡

- 愛知川店
- FM 秦荘店

近江八幡市

- 近江八幡店
- AP 近江八幡店
- 篠原店
- FM・D 武佐店
- FM 江頭店
- FM 八幡上田店
- FM 安土店

彦根市

- ピバシティ平和堂
- A 彦根店
- 大数店
- 日夏店
- 彦根銀座店
- FM 稲枝店
- FM 彦根地蔵店

米原市

- 米原店
- FM 山東店

長浜市

- AP 長浜店
- 長木之本店
- FM 浅井店
- FM 長浜祇園店
- FM 湖北店

高島市

- 今津店
- あどがわ店

京都府 14店舗

- AP 醍醐(京都市)
- FM 梅津店(京都市)
- AP 宇治東(宇治市)
- 小倉店(宇治市)
- 平和堂100BAN店(宇治市)
- FM 宇治店(宇治市)
- FM-G宇治市役所前店(宇治市)
- FM 御蔵山店(宇治市)
- AP 城陽(城陽市)
- AP 京田辺(京田辺市)
- AP 木津(木津川市)
- FM 木津川店(木津川市)
- AP 木岡(木岡市)
- FM 長岡京店(長岡京市)

大阪府 9店舗

- AP 茨木(茨木市)
- 真砂店(茨木市)
- FM 彩都店(茨木市)
- AP 香里園(寝屋川市)
- FM 東寝屋川店(寝屋川市)
- AP 枚方(枚方市)
- AP 高槻(高槻市)
- FM 高槻水室店(高槻市)
- FM 岸辺店(吹田市)

兵庫県 2店舗

- AP つかしん(尼崎市)
- AP あまがさき(尼崎市)

福井県 6店舗

- AP 敦賀(敦賀市)
- AP 武生(越前市)
- AP 鯖江(鯖江市)
- AP ベル(福井市)
- FM 開発店(福井市)
- AP アミ(坂井市)

石川県 5店舗

- AP 加賀(加賀市)
- AP 小松(小松市)
- AP 金沢(金沢市)
- AP 津幡(河北郡)
- AP 鹿島(鹿島郡)

岐阜県 9店舗

- ノースウエスト店(大垣市)
- FM 東寝屋川店(寝屋川市)
- AP 鶴見(大垣市)
- 寺内店(大垣市)
- 大垣本店(大垣市)
- 大野店(揖斐郡)
- 高富店(山県市)
- 穂積店(瑞穂市)
- うぬま店(各務原市)
- 東海・日野店(岐阜市)

富山県 2店舗

- AP 富山(富山市)
- AP 小杉(射水市)

愛知県 9店舗

- 尾西店(一宮市)
- 牛野店(一宮市)
- 木曾川店(一宮市)
- 稲沢店(稲沢市)
- 祖父江店(稲沢市)
- 扶桑店(丹羽郡)
- 江南店(江南市)
- AP 小牧(小牧市)
- 平和堂豊成店(名古屋市)

㈱エール 2店舗

- 京都府
- 東舞鶴店(舞鶴市)
- 峰山店(京丹後市)

㈱ヤナゲン 2店舗

- 岐阜県
- 大垣本店(大垣市)
- FAL店(瑞穂市)

(注)グループ会社の㈱エールおよび㈱ヤナゲンの店舗も含んでおります。



【ホームページアドレス】
<http://www.heiwado.jp/>

